

# 1 2年度福信館炊き出し活動報告

## I はじめに

昨年末の総選挙で自民党政権が復活し、アベノミクスと言われる経済政策により「景気回復・経済成長」の掛け声が賑やかになっている。その陰で、大震災・原発事故の犠牲者は置き去りにされ、社会福祉関連の予算は削られている。歴史の教科書を開くまでもなく、いつの時代も、「経済成長」は犠牲者を生み出したことを銘記しなければならない。ましてや、キリスト者は「神」と「富」とには兼ね仕えることが出来ない、とイエスの教えにあるが故に、「経済成長」を礼賛してはならないだろう。犠牲にされた「弱者」と共にあることがキリスト者の道ではなかろうか。

所謂、「ホームレス」の人々が「経済成長」の犠牲者であることを、福音書の『ぶどう園の労働者』の譬えから、キリスト者は認識しなければならない。

今後、ますます、「ホームレス」の人々をはじめ貧困者が増大するだろう。キリスト者の関心が、天国にではなく、犠牲者、貧しい人々に向けられるよう、教区のみなさまと力を合わせて行きたいと思う。

### <炊き出し活動>

目的 炊き出しを必要としない社会、野宿生活を強いられない社会をつくろう。

- 活動
- 1、炊き出し、等による野宿生活者との出会いと交流
  - 2、生活保護、等による「自立」支援。
  - 3、野宿生活者問題の理解と協力を求める広報・宣伝活動

## II 活動報告

### <炊き出し>

1、年間炊き出し— NPO ささしま共生会の炊き出しに参加。木（調理、配食）・金曜日（洗い、片付け）金担当。

協力教会、団体、個人でローテーションを組む。布池、南山、恵方町、城北橋、長浦、東海、東山、高蔵寺、一宮、小牧、江南教会、聖霊会、無原罪のマリア修道女会、聖心の聖母会、樹の会、不二聖心、南山大学アヴァンギャルド、他。

2、越冬炊き出し—12月30、31日修女連を中心に担当。

3、天白川訪問一月二回、第二、第四月曜日、食料、衣類等を持って訪問。2人生活保護受給によりアパート生活へ

### <生活相談>

1、衣類提供—木曜日に開催。



